

畜 第 1 1 5 1 号  
平成31年 2 月 13 日

公益社団法人 鹿児島県トラック協会長 様

鹿児島県農政部畜産課長



愛知県の豚飼養農場及び関連農場における豚コレラの発生に伴う防疫対策の  
再徹底について（依頼）

日頃から、本県の家畜衛生対策への御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

昨年9月以降の岐阜県における豚コレラの発生を踏まえた防疫対策については、適切に対応いただいているところですが、今般、愛知県の豚飼養農場及び4府県の関連農場において、豚コレラの発生が新たに確認され、続発しているところです。

豚コレラは、強い伝播力と高い致死率を特徴とする豚及びいのししの家畜伝染病であり、万一県内で本病が発生した場合、甚大な被害となる恐れがあります。

については、豚及びいのししを所有する傘下会員等に対し、消毒による人・車両等を介したウイルスの侵入防止対策、飼養豚の毎日の健康観察による異常豚の早期発見・通報、肉及び肉製品を含み又は含む可能性のある食品残渣の適正使用、野生動物との接触防止等の飼養衛生管理基準の遵守について、周知及び指導を再徹底してください。また、今般の発生事例や感染試験で確認された「発熱、元氣消失、食欲減退、結膜炎、流死産」等、本病を疑う症状が認められた場合は、確実に届け出るよう指導をお願いします。

<農林水産省ホームページ：家畜伝染病の発生に関する情報>

豚コレラ

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

<県から家畜伝染病発生情報等の随時発信しています。メールマガジン「かごしま畜コミ・インフォ」>

<http://www.pref.kagoshima.jp/ag07/sangyo-rodo/nogyo/tikusan/topics/kagoshima-chiccomi.html>

家畜衛生係 米丸・平島

TEL 099-286-3224

FAX 099-286-5599

# 豚コレラ・アフリカ豚コレラの侵入防止対策を徹底しましょう!

本年9月、日本において26年振りに豚コレラが発生しました。近隣国では、豚コレラ及びアフリカ豚コレラの発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いています。

## 衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場  
への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする  
際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む  
可能性がある場合は、  
十分に加熱処理

### 豚コレラ

2018年9月、11月、12月、2019年1月  
日本で発生

**特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!**

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等  
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典・岐阜県

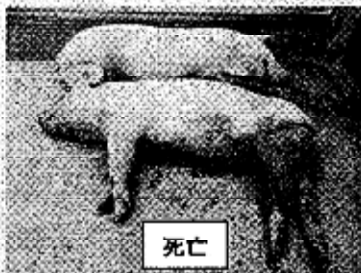
重症例は後駆麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

### アフリカ豚コレラ

2018年8月以降  
中国で発生継続

**病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、  
急性では発熱が見られます。**

異状を発見したら直ちに通報しましょう!



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42°C)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典: 国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

詳細情報はこちら(農林水産省HP)

豚コレラについて:



アフリカ豚コレラについて:

